

Intelli-Cross® Pro 付きジャンパ

[ジャンパの極性についてはこちら]



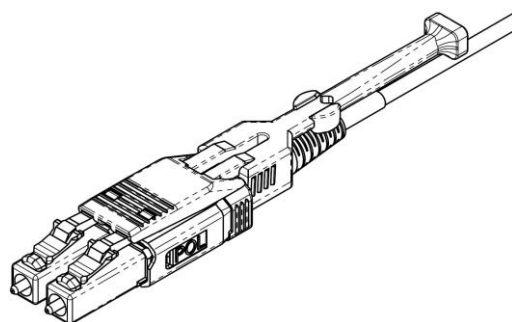
Intelli-Cross® Pro LC ユニブーツコネクタ

[コネクタの特徴についてはこちら]



取扱説明書

Intelli-Cross® Pro SLDXA-2P シリーズ LC ユニブーツ コネクタプラグ



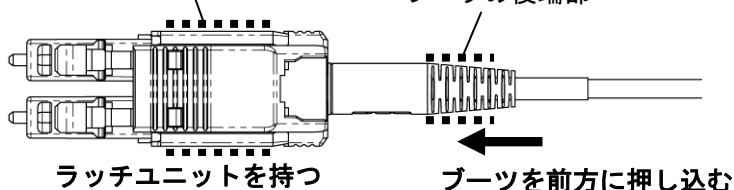
このたびは **Intelli-Cross® Pro SLDXA-2P シリーズ LC ユニブーツ コネクタプラグ** 製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

1 極性変換の操作手順

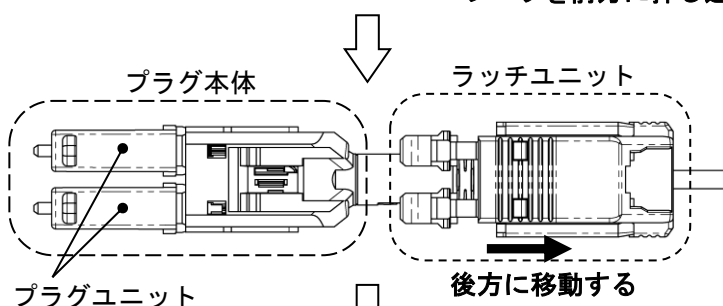
本製品は、左右の光ファイバの位置を入れ替える極性変換を容易に行うことができます。

ラッチユニット側面の
黒色部分

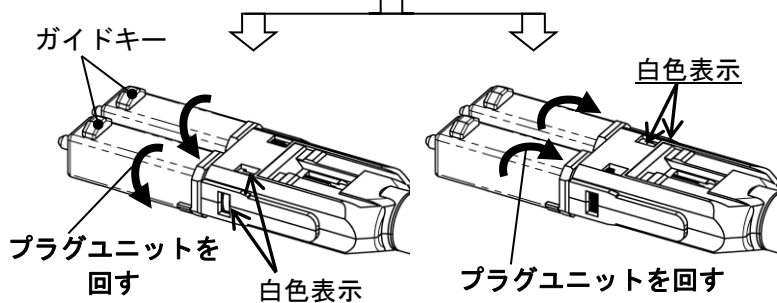
ブーツの後端部



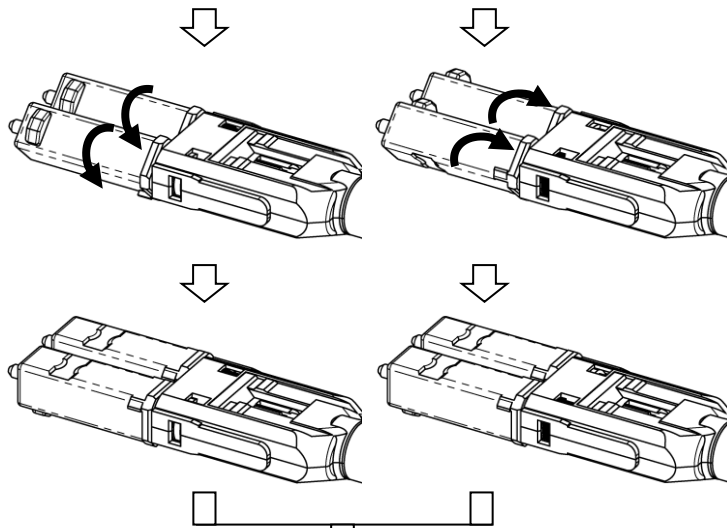
手順1 片手でラッチユニット側面の黒色部分を持ち、片手でブーツの後端部を持ちます。ブーツを前方に向かって強めに押し込みます。



手順2 ラッチユニットを後方に移動します。



手順3 白色表示側のガイドキーがコネクタプラグの外側を回る方向に、プラグユニットを回します。

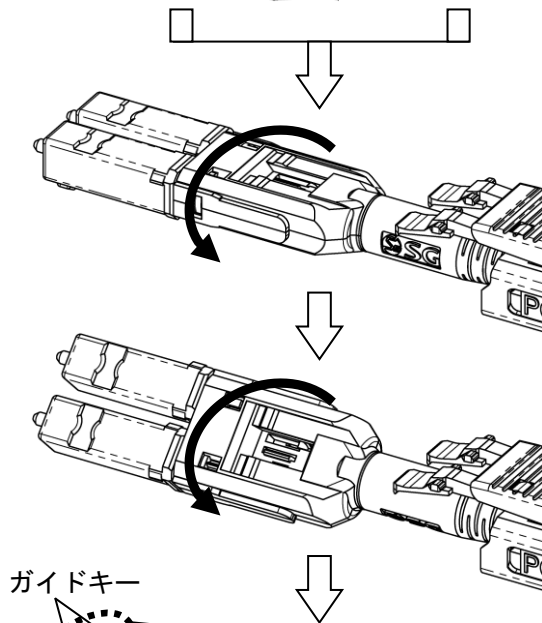


二つのプラグユニットは連動して回ります。

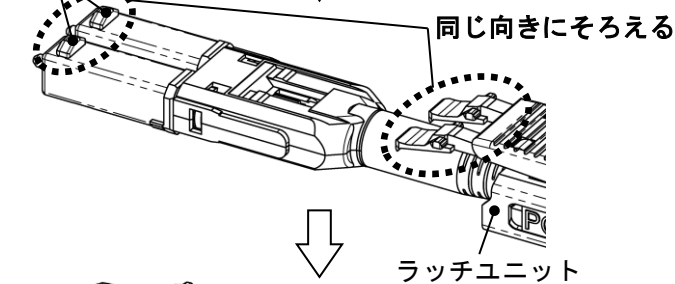
180 度回したところで、回転は止ります。

注意

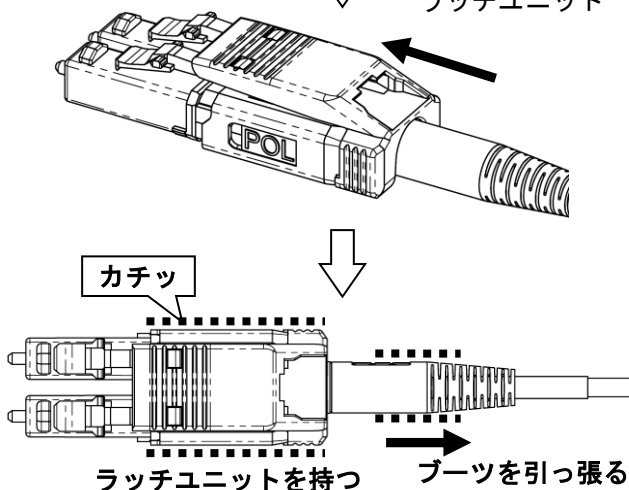
必要以上にプラグユニットを回さないようにしてください。コネクタプラグが分解するおそれがあります。



手順 4 図のようにプラグ本体を 180 度回します。ガイドキーの向きとラッチユニットの向きをそろえます。



手順 5 ラッチユニットを前方に移動します。



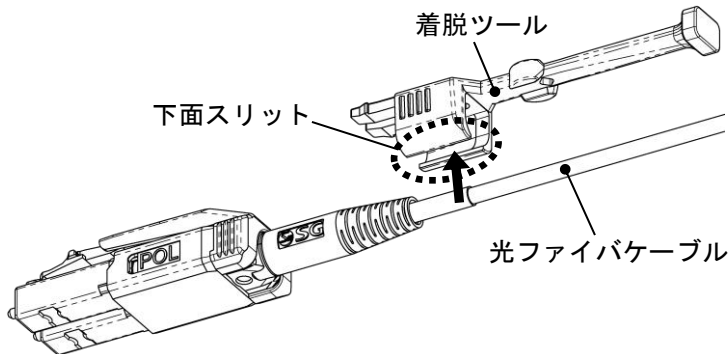
手順 6 片手でラッチユニットを持ち、片手でブーツの後端部を持ちます。ブーツを後方にカチッと音がするまで引っ張ります。

2 着脱ツールの使い方

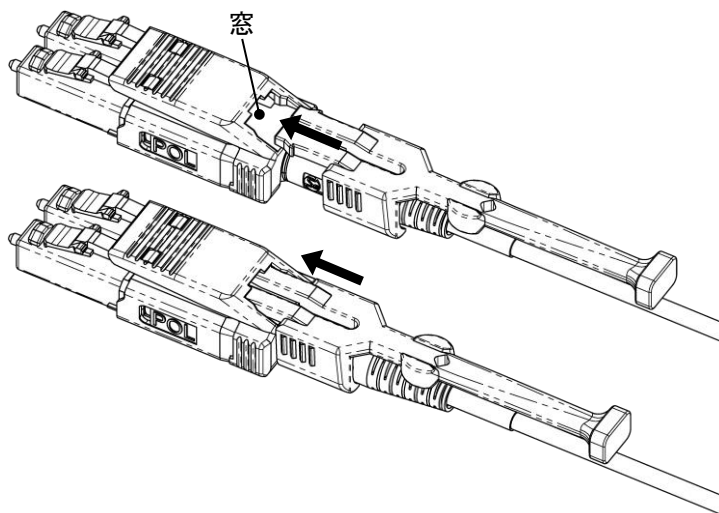
本製品は、着脱ツールを取り付けて使用することができます。
また、着脱ツールは途中で折り取ることによって長さを短く変えることができます。

(1) 着脱ツールの取り付け方

コネクタプラグがアダプタなどに嵌合している状態でも、着脱ツールを取り付けることができます



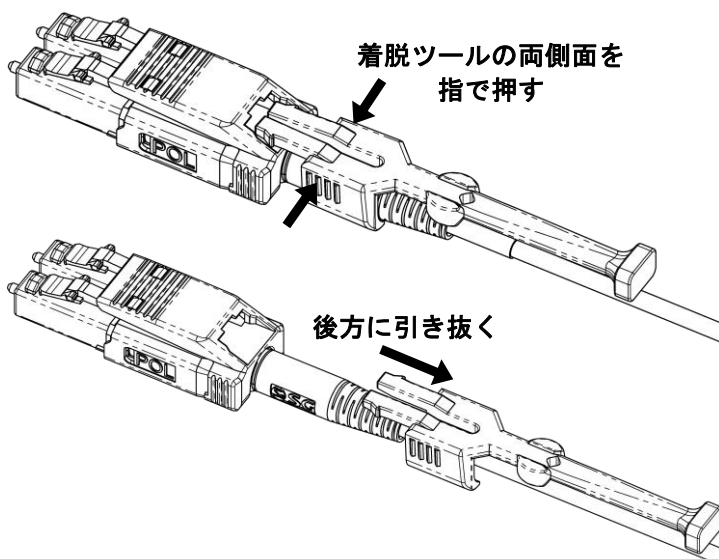
着脱ツールの下面スリットに光ファイバケーブルを通します。



着脱ツールの先端をラッチユニット後部の窓に合わせ、突き当たるまで押し込みます。

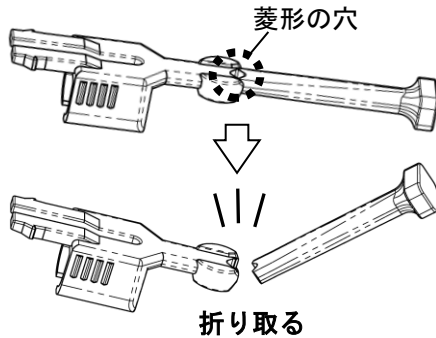
(2) 着脱ツールの取り外し方

コネクタプラグがアダプタなどに嵌合している状態では、着脱ツールを取り外すことはできません。



着脱ツールの前方の両側面を指で押して内側にたわませます。たわませながら、着脱ツールを後方へ引き抜きます。

(3) 着脱ツールの長さの換え方



菱形の穴の位置で折るように力を加え、尾部を折り取ります。

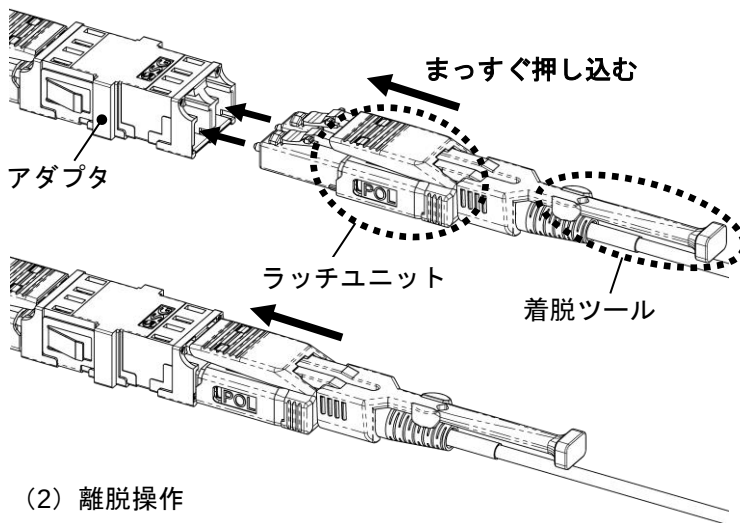
折り取った部分は、地方自治体の法令に従って適切に廃棄してください。

材質：PBT ガラス繊維強化、難燃剤入り

3 コネクタ結合・離脱操作

本製品は、アダプタなどに対してプッシュプル結合・離脱することができます。

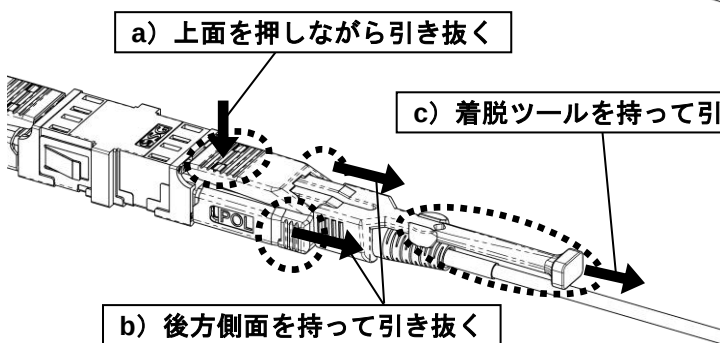
(1) 結合操作



ラッチユニット又は着脱ツールを持って、アダプタなどにまっすぐに押し込みます。カチッというクリック音がするまで確実に押し込みます。

結合に必要な押し込み力は約 12 N (約 1.2 kgf) です。

(2) 離脱操作



次の3つの方法で離脱できます。

- a) ラッチユニットの上面を押しながら引き抜く
- b) ラッチユニットの後方側面を持って引き抜く
- c) 着脱ツールを持って引き抜く

4 端面クリーナ

本製品の端面清掃には、次の端面クリーナを推奨します。

- ・精工技研 ハンディメイト SHM-502
- ・精工技研 ハンディメイト SHM-503
- ・精工技研 フェールメイト 2.0 SFM2.0-125



株式会社 精工技研

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 296-1
TEL: 047-388-6111 FAX: 047-388-4477
E-mail: sales.div@seikoh-giken.co.jp

Copyright © 2020-2023 株式会社 精工技研
「Intelli-Cross」は株式会社 精工技研の登録商標です。
弊社に断りなく複製および転載を禁止します。
本書の内容は断り無く変更することがあります。

2023 年 12 月